

社会福祉法人わらしひべ会



君たちはつねに晴れ上がった空のように、
たかだかとした心を持たねばならない。

21世紀に生きる君たちへ(司馬遼太郎)

作家司馬遼太郎さんは、1978年4月わらしひべ会の設立総会で記念講演をしてくださいました。わらしひべ園の玄関にある表札も司馬遼太郎さんの揮毫によるものです。わらしひべ会は、つねに原点にもどり、職員の志（こころざし）を、利用者の希望を育む法人でありたいと思います。

理事長あいさつ

社会福祉法人わらしへ会
理事長 辻 和也



障がい者柔道の世界大会でアフリカの選手と。

わらしへ会と創設者村井先生のこと

社会福祉法人わらしへ会は、1981年（昭和56年）3月に医師の村井正直先生（1926～2010）と陽子先生（1930～2010）ご夫妻によって創設されました。村井先生はそれ以前に肢体不自由児の訓練方法としてハンガリーのペトウシステムを導入し、わらしへ学園でその実践をされていました。

1981年に重度身体障害者更生援護施設として創設されたわらしへ園では、柔道療育、障害者乗馬などユニークなプログラムが実践されてきました。法人としてはその後、知的障害者の入所施設である第二わらしへ園の開設をはじめ、相談支援、就労支援、ホームヘルプ、グループホームなどの各事業を展開してきました。

わらしへ会の使命と私たちの役割

わらしへ会は障害者支援施設わらしへ園（身体・入所）、第二わらしへ園（知的・入所）が母体となっている法人です。わらしへ会は何よりもまずこれらの利用者の生活を守り、支える法人であることを強く意識しています。障がいのある利用者ご本人が、安心して、健康に、そして楽しく暮らせる場を作り、守っていくのが第一の使命です。

また、これまで養ってきた障害者支援の経験や、創設以来つちかってきたチャレンジ精神をもとに、他にはない独自性のあるサービス、活動の提供を心がけています。

私自身はSNSやホームページを通じて、障がいのある人たちの生活とそこで働く職員のようすを情報発信していく取り組みを続けています。ささいなことでも職員ひとりひとりが法人の使命を自覚し、情熱をもってチャレンジしていく、そういう法人でありたいと思っています。



法人創設者村井正直医師とわらしへ会の歩み

- 1977年（昭和52）医師村井正直、ハンガリー・国立ペトウ研究所訪問
- 1978年（昭和53）肢体不自由児療育施設わらしへ学園（無認可）開設
- 1981年（昭和56）社会福祉法人わらしへ会認可（わらしへ園開設）
- 1987年（昭和62）姉妹法人として北海道に大滝わらしへ会発足
- 1999年（平成11）第3回国際ペトウ学会開催（北海道浦河町）
- 2000年（平成12）ハンガリー共和国大統領夫人ご来園
- 2010年（平成22）わらしへ会創設者村井正直先生 10月ご逝去
わらしへ会初代理事長村井陽子先生 12月ご逝去

障害者支援施設

「障害者支援施設」とは、いわゆる「入所施設」で身体に障害がある方、知的に障害がある方が施設で生活するところです。短期入所（ショートステイ）も行っていますので、地域にお住まいの方が一時的に利用されることもあります。



わらしべ園

「わらしべ園」は、身体障害のある方が主な対象で、ほとんどの方が車いすを利用しています。入浴や食事など基本的なサービスのほか、日中活動では、和太鼓、外出、創作活動など、多彩な活動を行っています。わらしべ園では短期入所も利用できます。



「わらしべ園」住所 〒573-0103 枚方市長尾荒阪 2-3545 TEL 072-850-5507 FAX 072-850-5648

事業 ①施設入所支援事業：39 名 ②短期入所事業：2 名 ③生活介護事業：40 名



第二わらしべ園

「第二わらしべ園」は、知的障害のある方が主な対象の入所施設です。こちらも入浴や食事など基本的なサービスのほか、日中活動では、空き缶リサイクル活動や軽作業のほか屋外テラスでのBBQ、エアロビクスやソフトボーラーなど楽しみながら身体を動かす活動を行っています。第二わらしべ園でも、短期入所が利用できます。



「第二わらしべ園」住所 〒573-0103 枚方市長尾荒阪 2-3545 TEL 072-850-8406 FAX 072-850-8412

事業 ①施設入所支援事業：40 名 ②短期入所事業：4 名 ③生活介護事業：40 名

生活介護

「生活介護」とは、いわゆる障害のある方のデイサービスで、身体に障害がある方、知的に障害がある方が昼間通って、創作活動や運動、レクリエーションをしたりするところです。基本的なサービスとして食事や入浴もあります。



はる Haru かぐまち

「Haru かぐまち」は、身体に障害がある方が主に通われている生活介護事業所です。送迎も行っています。活動内容は、創作活動や運動、外出や事業所の裏の畑で野菜作りなどを行っています。地域のイベントに積極的に参加して、ワークショップも行っています。



「Haru かぐまち」住所 〒573-0102 枚方市長尾家具町 2-5-13 TEL 072-380-2364 FAX 072-380-4056
事業 生活介護事業：20 名



ハッピーガーデン

「ハッピーガーデン」は、知的に障害がある方が主に通われている生活介護事業所です。送迎も行っています。活動内容は、軽作業や、和太鼓、生け花、エアロビクス、書道、お菓子作りなどの活動を行っています。日帰り旅行などを行い、楽しみな活動となっています。



「ハッピーガーデン」住所 〒573-0122 枚方市津田東町 3-27-1 TEL 072-859-8555 FAX 072-807-8535
事業 生活介護事業：30 名



エミナわらしへ

「エミナわらしへ」は、知的に障害がある方が主に通われている生活介護事業所です。送迎も行っています。活動内容は、タオル加工をはじめとした様々な軽作業を行っています。季節の行事やレクリエーションも多彩です。



「エミナわらしへ」住所 〒573-0164 枚方市長尾谷町 1-101-1 TEL 072-807-3682 FAX 072-868-3305
事業 生活介護事業：20 名



わらしへ園

入所施設の「わらしへ園」も生活介護事業所です。地域にお住いの主に身体に障害のある方が送迎サービスを利用し昼間通われています。食事、入浴サービスはもちろん、創作活動や外出、地域のイベント参加など活動的な事業所です。

連絡先は障害者支援施設「わらしへ園」と同じ。



第二わらしへ園

入所施設の「第二わらしへ園」も生活介護事業所です。地域にお住いの主に知的に障害のある方が送迎サービスを利用し昼間通われています。食事、入浴サービスのほか、生け花などの創作活動や、エアロビクスや外出などのリクリエーション活動を中心に行っています。

連絡先は障害者支援施設「第二わらしへ園」と同じ。

わらしべ会の生活介護とショートステイ

ひるまとうところ

短期間泊まるところ

主に身体障害



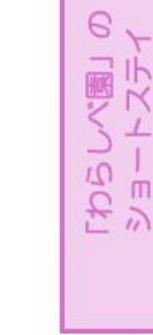
「Haru kagamachi」の生活介護



主に身体障害



「わらしべ園」の生活介護



わらしべ会の
ショートステイ(短期入所)の特徴

・ショートステイは、ご家族の介助が一時的に難しい場合などに利用しています。
・日常的にも利用していただくことで急な対応がしやすくなります。

わらしべ会の生活介護の特徴

- ・作業やレクリエーションなどプログラムが豊富で楽しい。
- ・食事をそれぞれの施設で作っている（自前給食）ので、断然おいしい。
- ・身体障害、知的障害それぞれあって、障害の種別・程度に応じて選べます。
- ・わらしべ園、第二わらしべ園のショートステイの利用相談ができます。
- ・わらしべ園、第二わらしべ園の入所の相談もできます。
- ・職員がそれぞれの事業所を経験しているので連携して支援ができます。

主に知的・身体障害



「エミナわらしべ」の生活介護



「わらしべ園」の
ショートステイ



主に知的障害



主に知的障害



主に知的障害



「第二わらしべ園」の生活介護

「ハッピーガーデン」の生活介護



就労継続支援 B 型事業所

・「就労継続支援事業 B 型」とは、就労の機会の提供（生産活動などの就労訓練を行う）、能力向上のための訓練・支援（就労に必要な知識や能力を向上させるための訓練）を行う事業所です。



セルプわらしへ

「セルプわらしへ」は、就労継続支援事業 B 型の事業所です。主に知的に障害がある方が来られています。作業内容は、軽作業、清掃作業、外部草刈などを行っています。1泊旅行などの余暇活動も行っています。



「セルプわらしへ」住所 〒573-0154 枚方市王仁公園 2-2 TEL 072-858-1425 FAX 072-858-9398
事業 就労継続支援事業 B 型：20 名

グループホーム

わらしへ会は枚方市内に（主に長尾駅近辺）に数か所グループホームを運営しています。身体や知的に障害がある方が数名で暮らしています。食事作りや入浴支援など日常必要な支援は、世話人と呼ばれる非常勤職員が担っています。

あすなろホーム



「あすなろホーム」

住所 枚方市藤阪中町

事業 共同生活援助事業：8 名

ふじさてらす



「ふじさてらす」

住所 枚方市藤阪南町

事業 共同生活援助事業：10 名

すがはら

「すがはら」

住所 枚方市長尾元町

事業 共同生活援助事業：7 名



グループホーム統括事務所 TEL 072-855-5603



わらしへ会自慢のフォトギャラリー

車いすの利用者と一緒に
ハワイ・ホノルルマラソンに行きました



どの事業所も外出、遠足、旅行によく行きます



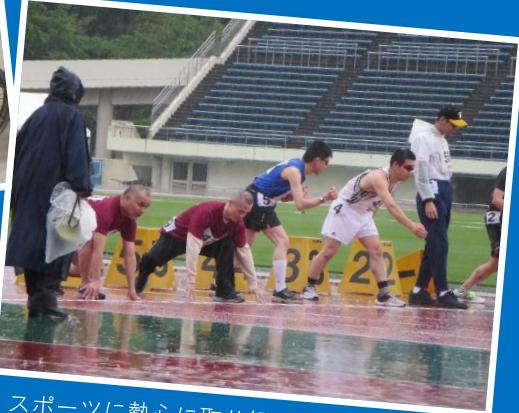
福祉機器を試して
勉強しています



スーパーナカガワさんがよく
スイカをくれます



障害者スポーツをいろいろやります



スポーツに熱心に取り組んでいます



外部の研修にもよく行きます



職員全体研修会



実は障害者柔道のバイオニア



なんと、イギリスのアン王女が来たことがあります



ケニアの障害児施設で施設実習



グループホームの人たちと回転すし



けっこう豊富な自作動画コンテンツ。
Youtube で公開。



第二わらしへ園ソフトボールチームの沖縄合宿。
沖縄大学の学生さんと合同練習。



遠足、旅行はみんな大好き



ギターを弾ける？人もいる



関西外大生と一緒にミュージカル発表する人もいる



委託でない自前給食は
やっぱりおいしいと評判



絵画展をする人もいる

わらしへ会の事業所を利用したい障害当事者や家族のかたへ

わらしへ会の事業所を利用したいと思っておられる障害当事者やご家族のかたは、パンフレットにあるそれぞれの事業所の連絡先へ直接ご連絡ください。もしくはパンフレットの裏面にある法人本部へご連絡ください。

障害のある方が安心して暮らせるだけでなく、外出や日々のプログラムでいろいろな経験をしていただけるよう職員みんなで取り組んでいます。遠慮なくお問い合わせ、ご連絡ください。



わらしへ会の事業所で働いてみたいかたへ

わらしへ会では随時職員の募集をしております。障害のある方が元気で、楽しい経験を積んでいただけるよう一緒に働く方をおられましたら、ぜひご連絡ください。非常勤では高齢のかたも頑張ってくださっています。(70歳まで応募できます)

ホームページでも採用情報を載せておりますが、関心のある事業所がありました直接その事業所にご連絡いただいてもかまいません。もしくはパンフレットの裏面にある法人本部へご連絡ください。



その他のご案内

障害者柔道 練習生募集

- 毎週土曜日午後1時30分～2時30分（わらしへ会のホームページで練習予定日を掲載しています）
- わらしへ園多目的室（柔道場）（枚方市長尾荒阪2-3545）
- 参加対象者
 - ・ダウン症のかた、知的障害のあるかた、精神的なしんどさをかかえているかた、身体障害のかたなどが来られています（18歳以上の教室ですが、それ以下の方も相談に応じます）。
- 柔道着はお貸します。一度見学に来てください。

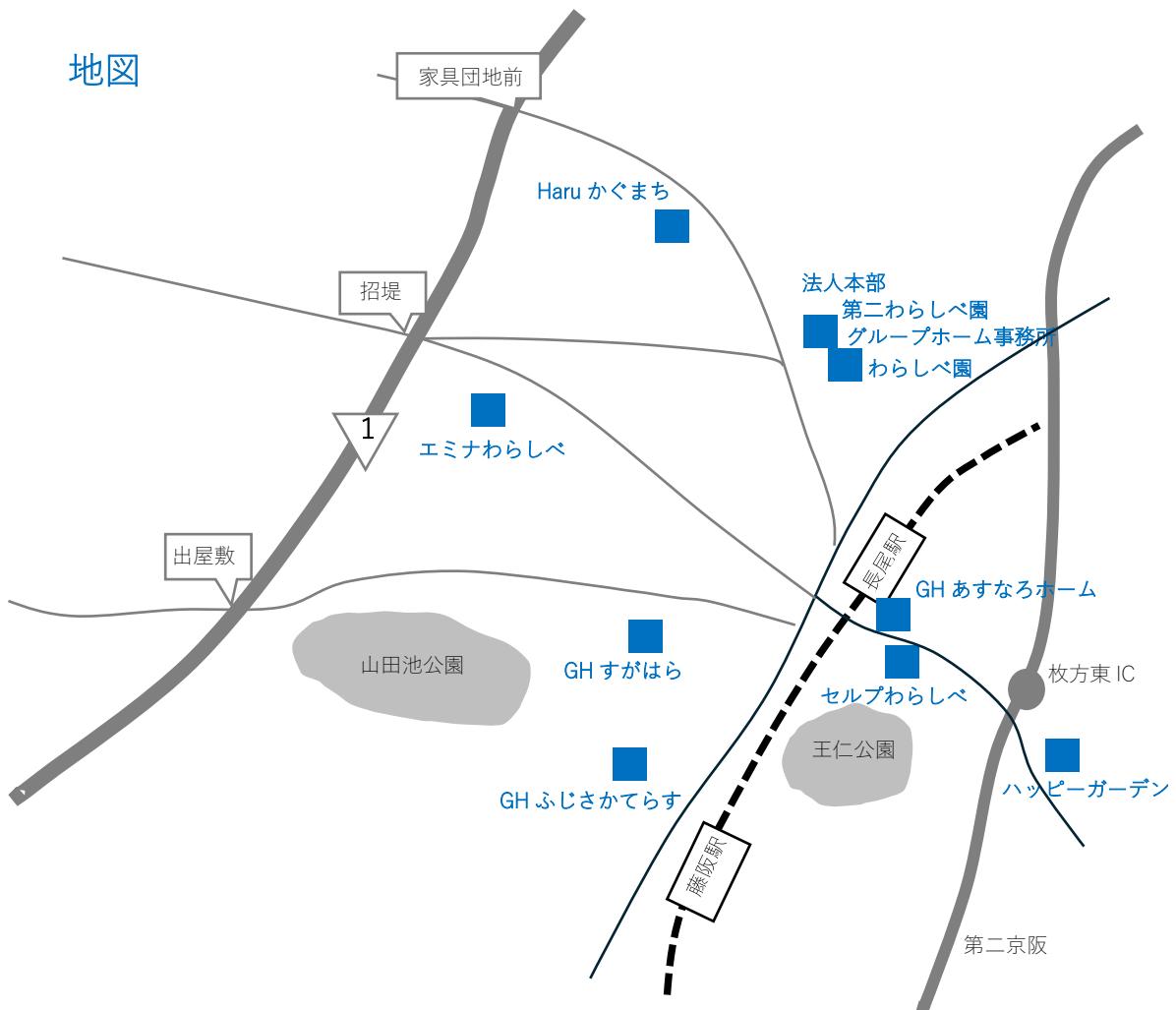


セルプわらしへの週末公開プログラム

セルプわらしへでは、障害のある方向けの「週末公開プログラム」を行っています。どこの事業所所属の方でも、どこの事業所にも行っていなくても参加できます。随時ホームページに予定を掲載しています。もしくは「セルプわらしへ」に直接お問い合わせください。



地図



わらしへ会事業の沿革

1978	1992
わらしへ学園	
1981 法人設立	
わらしへ園（障害者支援施設）身体	
1996 第二わらしへ園（障害者支援施設）知的	
2001 グループホーム	
2011 あすなろホーム	
2019 ふじさかてらす	
2002 セルプわらしへ（就労継続B型）	
2005 村野わらしへ	2024 エミナわらしへ
2012 Haruかぐまち（生活介護）	
2013 ハッピーガーデン（生活介護）	



ホームページはこちらから↑

warashibekai ○
わらしへ会
投稿347件 フォロワー245人、フォロー中179人
大阪府枚方市にある障がい者を対象とした社会福祉法人です。障がい者の日々の活動を発信しています。障がい者虐待やソーシャルマラソン参加など活動的なプログラムをこれからも展開していきます。
www.warashibekai.or.jp



インスタはこちらから↑

わらしへ会動画公開チャンネル
このチャンネルでは、社会福祉法人の取り組みやイベント動画などを配信しています。

おすすめ

動画 コミュニティ 検索

YOUTUBE CHANNEL



Youtube はこちらから↑



社会福祉法人わらしへ会 法人本部
住所 〒573-0103 大阪府枚方市長尾荒阪 2-3545
TEL 072-850-5500 FAX 072-855-5527
e-mail info.wara.20@warashibekai.com